

## 用語等の解説

### 緊急時対策本部

重大事故時等に、発電所での事故対応の指揮を執る本部。TV会議システム等により、国や本店等と情報連絡ができる緊急時対策所内に設置され、発電所長が本部長を務める。

### 未臨界

原子炉内で、核分裂反応が一定の割合で起こっている状態を「臨界」といい、核分裂の数が徐々に減っていく状態を未臨界という。原子炉を停止させる時は、制御棒の挿入などにより、未臨界状態とする。

### 制御棒クラスタ駆動装置

原子炉の出力をコントロールしたり、原子炉を停止する際に用いる制御棒（正式名称は、制御棒クラスタ）を原子炉へ出し入れする装置。

なお、発電所に異常があった場合は、原子炉上部に保持していた制御棒を原子炉内に自動で落下させ、原子炉を停止させる。

### 非常用炉心冷却設備

原子炉を冷却する配管が破断し、冷却水が漏れ出た場合などに、自動的に原子炉へ冷却水を注入する設備。原子炉の圧力が減少するにしたがって、高圧注入系、低圧注入系等により、冷却水が注入される。

### 使用済燃料ピットへの放水

使用済燃料ピット内の水が大量に失われた場合、使用済燃料の冷却等のため、可搬型のスプレー装置を用いてスプレーするが、現場の放射線量が高い場合等は、射程距離が大きい移動式大容量ポンプ車及び放水砲を用いた放水を行う。

### 中容量発電機車、高圧発電機車

いずれも可搬型電源として、重大事故時等に必要な計器等へ電気を供給できる発電機車。